

# こころ 県P連だより

発行 徳島市北田宮1丁目8-68  
〒770-0003 ☎088-633-1105  
徳島県PTA連合会  
編集 総務・広報委員会

## 輝く未来を子どもたちと共に

徳島県PTA連合会  
会長 谷 明彦

日頃は、徳島県PTA連合会の活動にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況に直面しています。

九月八日には、県教委から携帯電話をめぐる問題について緊急の要請がありました。これを受け、県P連より会員の皆さまに緊急アピール文を発信し、資料1、安全な使用への取り組みをお願いいたしました。

このような、現代社会において子どもたちの健全育成のためにPTAの果たすべき役割はますます重要になっています。子どもたちが安全に学校へ通い、安心

して学び暮らせる、就学環境の改善に取り組む必要があります。

十月十四日には、徳島県教育長へ要望しました。従来は、幼小中高P連で県教育長要望へ資料2を行っていましたが、教育問題検討委員会にて各郡市P連の意見を審議した要望書を作成し、今回初めて県P連独自で陳情の運びとなりました。

また、県土整備局にも通学路等の改善について陳情に行きました。資料3へ要望したの項目も、子どもたちのための切実な申し入れです。県P連教育問題検討委員会を短期間に五回開催し、委員の方々には、大変お世話になりました。

PTA活動は、子どもたちの健やかな成長を願っての活動だと思います。新しい何かを始めるときや、行事は、自ら進んで行動していると、PTA活動に興味や面白さが生まれ、さらに意欲が湧いてきて、協同で作り出していく楽しさを感じ、イヤだと思いがら行動すると、新しいものに発展はなく、新しいものではないでしょうか。



谷会長から福家教育長へ

物事に、自ら進んで関わっているうちに、新しいものに出合ったりします。人と出会うことの大切さ。過去に出会った人、未来に出会う人、両方の人々との出会いが、そして今、一緒に活動している人々が自分を育ててくれます。

うことができず。これは、大切なことです。最初は小さな人々の集まりが段々と大きな円になり、自分にとって一生の財産になることでしょう。結びとなりましたが、今後とも子どもたちの健やかな成長のために、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

### 教育長要望

平成二十一年十月十四日、谷県P連会長ほか八名の役員が、当面する重点事項について、福家県教育長へ要望しました。県教委からは教育長をはじめ井上教育次長、長谷川教育次長ほか担当課長、室長等二十二名が出席した。

要望した重点事項については資料2のとおりです。

### 緊急アピール

〈資料1〉

子どもたちを犯罪被害から守るために、携帯電話・インターネットの使用についてぜひともご家族のご協力をお願いいたします。携帯を安全に使うためには、まず保護者とお子さまでルールを決めましょう。例えば、充電はリビングです。食事中は使わない。知らない人からメールがきたら保護者に報告する。悪口を書き込まない。自分の個人情報は書き込まない。……etc

### 県教育長要望事項

〈資料2〉

- I 子どもの安全・安心に関する要望
  - 1 新型インフルエンザ対策等、危機管理体制の周知及び市町村連携を含めた対応策の充実
  - 2 耐震強度不足校舎・体育館等の早急な耐震化整備の促進
  - 3 児童・生徒の通学路等についての安全確保
  - 4 不審者対策の充実
- II 子どもの学力向上に関する要望
  - 1 教員・学級体制の充実
  - 2 いじめ・不登校問題に対する問題と課題
  - 3 教育費と教材費・図書費等の確保
  - 4 高校入試制度・高校再編の改善
  - 5 特別支援教育の現状と課題

〈資料3〉

### 徳島県土整備部陳情書

〈児童・生徒の通学路等の安全確保〉  
交通安全対策は、これまでも喫緊の課題である。特に、交通弱者といわれる児童生徒の安全確保は重要であるが、特に歩道整備の不備等の課題は、重要な問題である。

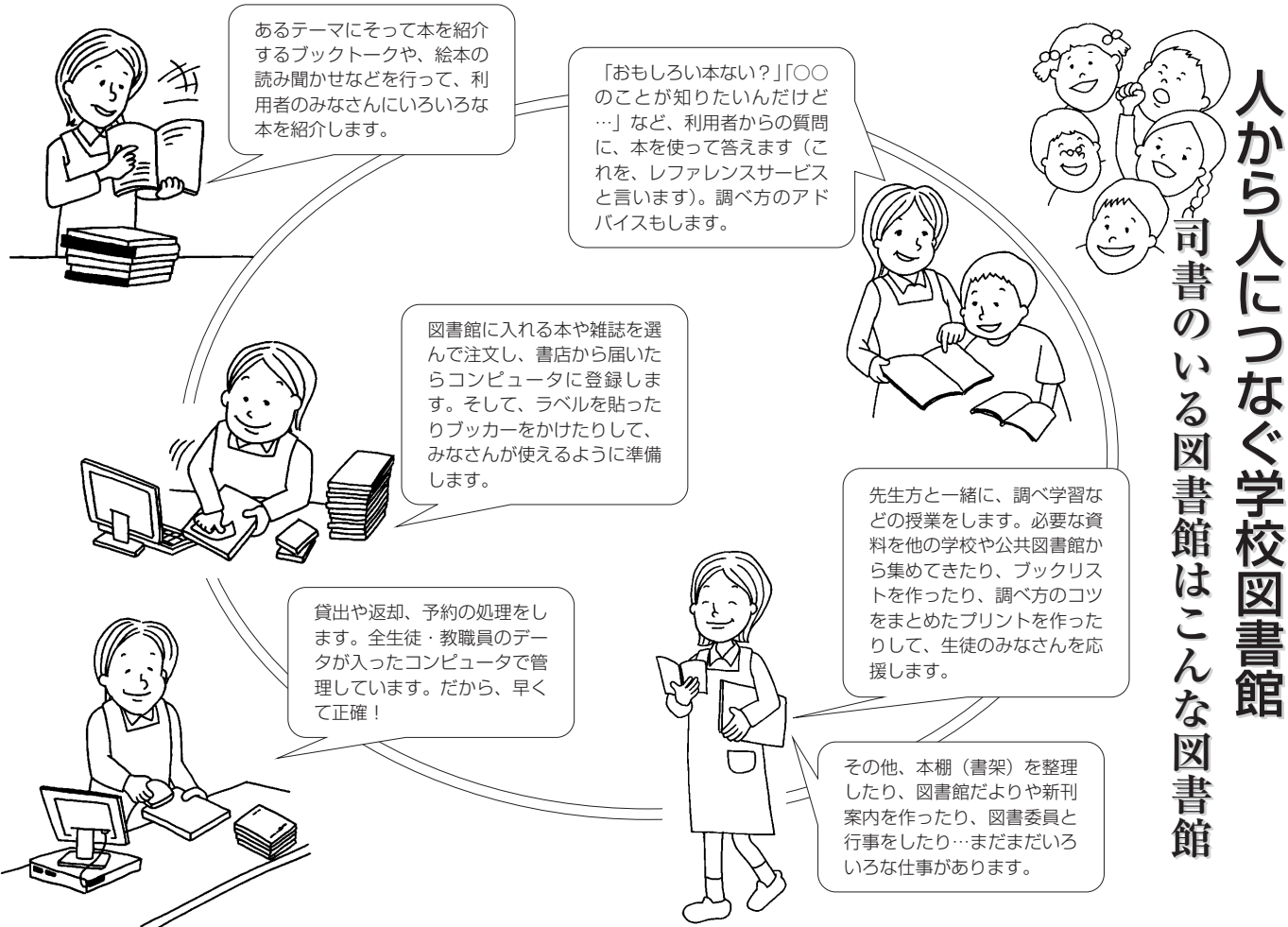
現在、小学校児童の登校については、各学校保護者等による交通当番等により安全確保をはかっていますが、危険個所対策については不十分な地域が多々あります。子どもの視点に立った通学路に対して次のことを要望する。

- 一、危険個所の改修
- 二、ガードレールの整備
- 三、歩道の新設
- 四、危険個所の信号・横断歩道の設置

事項について要望させ

# 手渡す人がいる学校図書館を……

学校図書館は、一人一人の子どもたちが大切な本との出会いをかなえる場所、しかし、そんな学校図書館の環境は、必ずしも十分に進んでいるとはいえません。



## 人から人につながる学校図書館 司書のいる図書館はこんな図書館

### 徳島県 0.9%

これは県内の小学校の学校図書館にて、司書教諭の他に図書館の仕事に専門にしている学校司書が配置されている学校の割合です。

他の県では、香川県34.8%、愛媛県16.9%、鳥取県87.8%、岡山県80.8%、富山県91.6%、長野県92.5%、沖縄県93.2%等となっています。全国平均は38.2%です。徳島県の中学校は3.4%です。(平成20年度「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省より)

本があつて、人がいて  
— 大切なのは、本を手渡す人 —

子どもたちにとって、最も身近な図書館は「学校の図書室」です。学校図書は、子どもたちの読みたいという気持ちを育て、これからの学習の基本となる読む力、表現する力を育てる大切な場所です。学校図書館が読書の世界へと導く案内所となるためには、その質を支える仕組みが必要です。図書館は、本の量だけではなく、必要な本をきちんと選び整理して、その本を子どもたちに手渡す人がいなければ、本来の機能が果たされません。学校図書館の専門職務をつかさどる「司書教諭」を擁している学校は、いまだ全体の6割程度となっています。ほとんどが11学級以下の学校規模の徳島県では、下記資料のように全国的に見ても充分とは言えない状況となっています。しかし、その配置された司書教諭も大半は学級担任などのかたわら担当したり、他の仕事が多く図書館に十分な時間をさくのは困難です。図書館の活用には専門の「学校司書」という職員が欠かせません。学校司書のいる公立小中学校は4割に満たず、徳島県においては上記資料のように小学校では1割にも足りていません。

公立学校における司書教諭発令状況

学校規模	小学校		中学校	
	徳島県	全高平均	徳島県	全高平均
12学級以上の学校	100%	99.40%	100%	98.80%
11学級以下の学校	5.6%	18.8%	12.9%	23.5%

徳島県内は11学級以下の学校が小学校では75%中学校では71%をしめています。(平成20年度「学校図書館の現状に関する調査」文部科学省より)

図書館にいつも学校司書がいて、子どもたちに学校にいる間はいつでも利用できる環境を整え、読みたい本を用意したり、図書館の使い方や、調べもののしかたを指導したりなど、図書館を計画的に活用している学校では、「子どもたちの「学ぼう」「知りたい」という気持ちが大きくふくらんでいきます。正確で役立つ情報を自分で選び取る能力を養う場として、学校図書館の重要性は増えています。

## 『保護者も協力、学校図書館』

### 週一から毎日開館へ

#### 「図書ボランティア」富田中学校

富田中学校では保護者の図書ボランティアが始まって今年で五年め、昼休みに本の整理や貸出しなどを行っています。きっかけは当時、図書室の利用がとて少なく、その理由が週一回、放課後に開館するだけだった。これでは部活動をしている生徒は利用しにくく、保護者の協力もありません。先生の手の回らない部分を保護者が協力できないかとボランティアが発足。学校も受け入れに同意し、週三回、昼休みの活動が始まりました。



本の貸出しを手伝うボランティア。読もうと教えることも大事なことです。同時に子どもたちが読書する環境を整えることも重要ではないでしょうか。

読書は大切、本を読もうと教えること、自己学習能力を高めるためにとても大切なことです。しかし、配置された司書教諭に授業時間を減らすなど、図書館に携わっている学校は増えてきていますが、まだ全国平均七・六%にとどまっています。子どもたち一人一人の顔が見える司書教諭には、子どもたちと本をつなぐ案内人として、十分な時間が必要だと感じます。

### 子どもたちの笑顔がパワーに……

#### 「鳴門西チョボラの会」ママの部 鳴門西小学校

鳴門西チョボラの会は、図書室の壁面掲示物作成の「図書室掲示」チーム(12名)と、業間休みを利用して、図書の整理、修復作業、貸し出し作業の手伝い等を行う「図書ママ」チーム(17名)で活動しています。●学校図書室充実のためなどのようなことをしているか。●図書室の壁面掲示。季節ごとのかわいい掲示物を作成し、壁に貼り付けたり、ピール(魚や動物など)等を部屋の真ん中にぶら下げてみたり、楽しい空間を作ろうと心がけています。



かわいい掲示で楽しい雰囲気の図書室

●今後は……図書ボランティアの方に学校図書のご感想を寄せてもらい、それを本とともに図書室に掲示し、本の紹介のプリントを作成して配布するなどの工夫ができればと現在準備中です。

### ★本が足りない★

文部科学省は以前から公立学校の規模ごとに図書館の本の冊数の標準を決めています。ところがそれに達しているのは小学校で45%、中学校で39%にとどまっています。また、本の冊数は足りていても、新しい本がそろわない学校も少なくありません。

政府は標準を満たすための支援措置を行っていますが、財政難のなか、本を買うお金を別の使い道に当てている自治体も多くあるそうです。子どもたちの読書環境を充実させるためには、行政や教育委員会等へ私たちの声を届ける必要があります。みんなの声と行動で学校図書館の充実をはかりましょう。

### 興味をふくらませ、生涯学ぶ力を育てる 司書教諭の想いは……

司書教諭とは、各学校で中心になって図書館の仕事をしています。司書教諭は各中学校図書館の本の整理はもとより、子どもたちと本をつなぐ役割を担っています。子どもたちの興味をわくように、それぞれの子どもたちにあった本を用意したり、また、授業にあわせて、学ぶ気持ちがあふくような本を用意します。時には子どもたちからどんな本が読みたいかリクエストを聞き、公立図書館から借りて揃える教諭もいます。

本にふれあうことは、目の前の学力だけでなく、生涯のための、自己学習能力を高めるためにとても大切なことです。しかし、配置された司書教諭に授業時間を減らすなど、図書館に携わっている学校は増えてきていますが、まだ全国平均七・六%にとどまっています。子どもたち一人一人の顔が見える司書教諭には、子どもたちと本をつなぐ案内人として、十分な時間が必要だと感じます。

### ◆総務広報委員より

今回の「こころ」は学校図書館の現状を伝えるべく編集を組みました。取材をする中で、岡山市京山中学校学校図書館司書の其輪純子先生のお話を聞く機会をいただきました。子どもに本を手渡す人の大切さや、学校図書室の役割を教えていただきました。一人でも多くの子どもたちに本を届けるために、私たちは今何ができるでしょうか。学校図書館の蔵書の充実を図ると同時に、学校司書の大切さを多くの人に知ってもらい、また、ボランティアの協力や、多様な読書活動の企画・実施や、図書館サービスの改善を図るなど、みなさんの声と行動で学校図書館の充実を図りましょう。

総務広報委員 杉本真理子



徳島県PTA連合会総会

去る六月十日(水)グランドパレス徳島において、県P連役員・郡市代議員・表彰者の方々の出席のもと、平成二十一年度定期総会が盛大に開催されました。

川原富子会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた十二団体と三十九名の方の表彰と十三名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞された二十校に感謝状が贈られた。

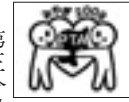
ご臨席の来賓八名の方を代表して県教育長福家清司様、県中学校長会長峯野高明様からご祝辞をいただいた後、飯泉嘉門知事の祝電披露、坂本賢司前県P連副会長の受賞者代表謝辞と進んだ。

議事に入り、平成二十年度の事業報告・決算報告・監査報告・PTA基金規約改正と承認の後、平成二十一年度新役員が選出され、



徳島県PTA連合会平成21年度役員

- 会長 谷 明彦 (小松島)
副会長 西田 由佳 (徳島・名東小)
// 小西 努 (鳴門)
// 峯下 恭次 (勝浦)
// 尾崎 真二 (海部)
// 川真田 泰 (吉野川)
// 三宅 智 (美馬)
// 中川 治子 (役員会推薦)
// 益田 豊秀 (県小学校長会長)
// 峯野 高明 (県中学校長会長)
監事 永易友希子 (板野)
// 数延 仁 (阿南)
// 中谷 守 (阿波)
顧問 祖上 俊郎 (名西)
// 川原 富子 (徳島・名東中)
総務・広報委員長 杉本真理子 (徳島)
人権・家庭教育委員長 中川 治子 (鳴門)
教育問題検討委員長 谷 明彦 (小松島)



北島中PTA会長 板東 理人

日P全国研究大会 みやぎ大会に参加して

第三分科会の会場は、宮城県北部の栗原文化会館でした。研究課題は、「子どもたちが確かな『生きる力』を育むためのPTA活動」で開会行事に引き続き基調講演が行われました。

基調講演の講師は歌手のさとう宗幸さんで、「ふれあいの時を求めて」という内容で、まずは「青葉城恋歌」など二曲を披露して、その後ご両親が教師という家庭

環境の中で育ったこと、そしてご自身の将来を左右することになる大病を患った話などの成長過程での様々な出来事や、歌手として歩み始めた苦労話を話されました。昭和五十三年に発売した「青葉城恋歌」がヒットしてからは、今度はお母さんが病に倒れた話やあら

ためて感じた「母の力」などの話を聞かせていただきました。その話の中から、地元仙台への愛情、そしてご両親への深い愛情を感じるものができました。午後からの研究討議では、子どもたちが自ら学び考える教育への転換が必要だと話されていきました。

平成21年度 事業予定

- 4. 25 会計監査
5. 09 臨時三役会
5. 15 県教育長要望
5. 21~22 日P理事会・常置委員会・常任幹事会・臨時総会
5. 28 第1回三役会・定例役員会
6. 10 臨時役員会・県P連定例総会
6. 15 四国ブロックPTA協議会総会
6. 19 第1回教育問題検討委員会 幼小中高PTA連合会連絡協議会理事会・総会
6. 26 日P総会
7. 03 第2回三役会・定例役員会 合同専門委員会・第2回教育問題検討委員会
7. 16~17 日P理事会・常任幹事会・常置委員会・事務局長会
7. 18 第3回教育問題検討委員会
7. 25 第4回教育問題検討委員会
8. 21~22 日P全国研究大会(みやぎ大会)
8. 25 第2回総務・広報委員会
9. 03 第3回三役会・定例役員会
9. 16 県PTA振興大会兼会長・指導者研修会
10. 14 県教育長陳情・県土整備局陳情
10. 18 四国ブロックPTA研究大会(高知)
10. 27~28 日P理事会・常任幹事会・常置委員会
11. 03 第5回教育問題検討委員会
11. 07 中部ブロック研修会(名西郡)
11. 11 第3回総務・広報委員会
11. 14 南部ブロック研修会(那賀・勝浦郡)
11. 18 日P年次表彰式
11. 21 西部ブロック研修会(阿波市)
12. 04 第4回三役会・定例役員会
12. 11 人権・家庭教育研修会 四国ブロックPTA協議会役員会
2. 15 広報紙コンクール審査会
2. 18~19 日P理事会・常置委員会・評議委員会
3. 04 第5回三役会・定例役員会

栄えある全国表彰

十一月十八日、東京のホテルニューオオタニに於いて日本PTA全国協議会年次表彰式が行われその中で団体・個人の表彰がなされた。本県関係の受賞者は次の通りです。心からお喜び申しあげます。

文部科学大臣表彰

鳴門市立島田小学校PTA 日本PTA全国協議会会長

表彰・団体

江原東幼稚園・小学校PTA 徳島市新町小学校PTA 日本PTA全国協議会会長

表彰・個人

県P連元副会長 龍田 寿幸 (相生小P)
県P連元副会長 坂本 賢司 (柿原小P)
県P連元副会長 篠原 尚志 (貞光小P)
県P連元監事 仁木 康之 (宝田小P)

徳島県PTA連合会

★事務局★ 〒770-0003 徳島市北田宮一丁目8-68 徳島県教育会館内 TEL (088) 633-1105 FAX (088) 633-1153

◆事務局の構成

事務局長 中西 由佳 事務局職員 加納 政美

◆県教委PTA担当

生涯学習政策課 平山 義朗 総合教育センター生涯学習課 岩佐 隆之

